第４節　　結核･感染症対策

１　結核予防

(1)　結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成 30 年の管内の新登録患者数（表 1）は 20 人で、昨年より 20 人減少し、罹患率は 8.8 と昨年(17.5)に比べ減少した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は 7 人で昨年に比べ 6 人減少し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は 3.1 と昨年と比較し増加した。新登録患者に占める割合は、35.0%と比較し増加した。

新登録患者の年齢階層別では（表 3-1）では 70 歳以上が 12 人と全体の 60.0%を占め､性別でみると(表 3-2)男性が 12 人で罹患率が 5.3、女性が 8 人で罹患率が 3.5 と男性が多かった。新登録患者の発見方法別内訳(表 3-3)では､医療機関受診が 17 人で全体の 85.0%を占め、その他 個別・定期健康診断が 3 人（15.0%）であった。

潜在性結核感染症に該当する者の届出は（表 3-3）8 人で、昨年(11 人)と比較して減少している。発見方法別でみると、接触者健康診断が 6 人となっており全体の 75.0%を占めている。

平成 30 年 12 月末における管内での登録者数(表 2)は 57 人で昨年より 8 人減少し、登録率は 25.1 で、石川県(22.0)を上回っている。活動性結核患者は 13 人で昨年より 14 人減少しており、有病率は 5.7 で昨年(11.8)と比べ減少した。

表 1　新登録結核患者数、罹患率の年次推移　（単位、患者数：人、罹患率：人口 10 万対）

		H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年
南加賀管　内	新登録結核患者数	24	35	29	40	20
	全結核罹患率 罹患率	10.4	15.3	12.7	17.5	8.8
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	12	14	9	13	7
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.2	6.1	3.9	5.7	3.1
	新登録結核患者に占める割合	50.0%	40.0%	31.0%	31.0%	35.0%
石川県	新登録結核患者数	149	149	126	138	110
	全結核罹患率 罹患率	12.9	12.9	10.9	12.0	9.6
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	50	65	41	56	32
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.3	5.6	3.6	4.9	2.8
	新登録結核患者に占める割合	33.6%	43.6%	32.5%	40.5%	29.1%
全　国	新登録結核患者数	19,615	18,280	17,625	16,789	15,590
	全結核罹患率 罹患率	15.4	14.4	13.9	13.3	12.3
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	7,651	7,131	6,642	6,359	5,781
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	6.0	5.6	5.2	5.0	4.6
	新登録結核患者に占める割合	39.0%	37.9%	39.0%	37.7%	37.1%

表 2　結核登録者数・登録率、有病者数・有療率の年次推移　（単位：人）平成 30 年 12 月 31 日現在

		H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年
南加賀管　内	結核登録者数	54	65	58	65	57
	登録率（人口 10 万対）	23.4	28.3	25.4	28.5	25.1
	活動性結核患者数	15	22	20	27	13
	有病率（人口 10 万対）	6.5	9.6	8.7	11.8	5.7
石川県	結核登録者数	339	304	278	263	251
	登録率（人口 10 万対）	29.3	26.4	24.2	22.9	22.0
	活動性結核患者数	96	96	86	99	67
	有病率（人口 10 万対）	8.3	8.3	7.5	8.6	5.9
全　国	結核登録者数	47,845	44,888	42,299	39,670	37,134
	登録率（人口 10 万対）	37.6	35.3	33.3	31.3	29.4
	活動性結核患者数	13,513	12,534	11,717	11,097	10,448
	有病率（人口 10 万対）	10.6	9.9	9.2	8.8	8.3

表 3-1　新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）　　平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

		新登録患者総数	活動性結核							罹患率（人口 10 万対）	潜在性結核感染症（別掲）治療中
			肺結核活動性						肺外結核活動性		
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他			
				総数	初回治療	再治療					
総　数		20	18	7	7	0	11	0	2	8.8	8
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	20～29	1	1	0	0	0	1	0	0	5.1	2
	30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	40～49	3	3	1	1	0	2	0	0	9.1	2
	50～59	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	60～69	4	3	0	0	0	3	0	1	13.4	0
	70～79	2	2	1	1	0	1	0	0	6.9	1
	80～89	7	7	5	5	0	2	0	0	43.5	2
	90 以上	3	2	0	0	0	2	0	1	67.3	0
40 歳以上の比率		95.0%	94.4%	100.0%	100.0%	0.0%	91.0%	0.0%	100.0%		62.5
70 歳以上の比率		60.0%	61.1%	85.7%	85.7%	0.0%	45.5%	0.0%	50.0%		37.5

表 3-2　新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）　　平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

		新登録患者総数	活動性結核							罹患率（人口 10 万対）	潜在性結核感染症（別掲）治療中
			肺結核活動性						肺外結核活動性		
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他			
				総数	初回治療	再治療					
総　数		20	18	7	7	0	11	0	2	8.8	8
性別	男	12	12	3	3	0	9	0	0	5.3	3
	女	8	6	4	4	0	2	0	2	3.5	5
市町別	小松市	11	10	3	3	0	7	0	1	10.3	3
	加賀市	7	6	2	2	0	4	0	1	10.8	3
	能美市	2	2	2	2	0	0	0	0	4.1	2
	川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0

表 3-3　新登録患者数（発見方法別）（単位：人）　　平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							構成比（%）	潜在性結核感染症（別掲）治療中
		肺結核活動性						肺外結核活動性		
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他			
			総数	初回治療	再治療					
総　数	20	18	7	7	0	11	0	2	100.0%	8
健康診断	3	3	0	0	0	3	0	0	15.0%	7
個別健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
定期健康診断	3	3	0	0	0	3	0	0	15.0%	1
学校健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
住民健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
職場健診	3	3	0	0	0	3	0	0	0.0%	1
施設健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
接触者健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	6
家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	4
医療機関受診	17	15	7	7	0	8	0	2	85.0%	1
受診	11	11	5	5	0	6	0	0	55.0%	0
他疾患入院中	3	1	1	1	0	0	0	2	15.0%	1
他疾患通院中	3	3	1	1	0	2	0	0	15.0%	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0

表 4-1　結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）　　平成 30 年 12 月 31 日現在

		登録者総数	活動性結核 総数	肺結核活動性 総数	登録時喀痰塗抹陽性 総数	初回治療	再治療	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲） 治療中	観察中
総数		57	13	12	3	3	0	9	0	1	44	0	5	14
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29	5	1	1	0	0	0	1	0	0	4	0	2	4
	30～39	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
	40～49	3	2	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2
	50～59	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
	60～69	6	2	2	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0
	70～79	11	2	2	1	1	0	1	0	0	9	0	0	4
	80～89	21	3	3	1	1	0	2	0	0	18	0	1	0
	90 以上	7	2	1	0	0	0	1	0	1	5	0	1	0
40 歳以上の比率		87.7%	92.3%	91.7%	100.0%	100.0%	0.0%	88.9%	0.0%	100.0%	86.4%	0.0%	60.0%	64.3%
70 歳以上の比率		68.4%	53.8%	50.0%	66.7%	66.7%	0.0%	44.4%	0.0%	100.0%	72.7%	0.0%	40.0%	28.6%

表 4-2　結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）　　平成 30 年 12 月 31 日現在

		登録者総数	活動性結核 総数	肺結核活動性 総数	登録時喀痰塗抹陽性 総数	初回治療	再治療	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他	肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲） 治療中	観察中
総数		57	13	12	3	3	0	9	0	1	44	0	5	14
性別	男	35	10	10	2	2	0	8	0	0	25	0	2	9
	女	22	3	2	1	1	0	1	0	1	19	0	3	5
市町別	小松市	36	6	6	0	0	0	6	0	0	30	0	2	7
	加賀市	10	5	4	2	2	0	2	0	1	5	0	1	6
	能美市	10	2	2	1	1	0	1	0	0	8	0	2	1
	川北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表 5　結核死亡数及び死亡率の年次推移　　（単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対）

		H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年
南加賀管内	死亡数	1	1	2	2	0
	死亡率	0.4	0.4	0.9	0.9	0.0
石川県	死亡数	11	14	14	13	15
	死亡率	1.0	1.2	1.2	1.1	1.3
全　国	死亡数	2,099	1,955	1,892	2,303	2,204
	死亡率	1.7	1.6	1.5	1.8	1.8

(2)　結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握(表9)を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6　結核登録状況　（単位：人）　　平成30年1月1日～平成30年12月31日

	前年末総数(A)	本年中登録			本年中抹消					本年末総数(A+B−C)
		新規	転入	計(B)	死亡	治ゆ観察不要	転出	その他	計(C)	
合　計	88	28	3	31	10	29	2	2	43	76
結核患者	65	20	2	22	10	17	2	1	30	57
潜在性結核感染症	23	8	1	9	0	12	0	1	13	19

表7　保健指導実施状況(単位：件数)　　平成30年度

訪問		来所相談		電話相談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
39	110	27	58		1,233

表8　管理検診実施状況(単位：人)　　平成30年度

対象者(A)	受診者数								検診結果		
	保健所	委託医療機関			定期病状報告	他の医療機関等	計(B)	受診率(B/A)%	要医療	要観察	観察不要
			内訳								
			直接撮影	喀痰							
108	0	89	89	11	19	0	108	100.0%	0	62	46

表9　結核定期健康診断の状況　　平成30年度

	対象者数	受診者数				検診結果	
		受診者数	受診率%	検査内容		患者発見数	発病の恐れのある者
				間接撮影	直接撮影		
合　計	81,312	30,116	37.0%	18,088	11,909	0	0
事業主	13,247	12,780	96.5%	4,003	8,752	0	0
学校長	3,050	2,837	93.0%	1,320	1,512	0	0
施設長	1,972	1,905	96.6%	295	1,610	0	0
市町長	63,043	12,594	20.0%	12,594	0	0	0

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正（平成25年4月1日施行）により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表10　接触者健康診断実施状況(単位：人)　　平成30年度

	対象者(A)	受診者数												検診結果	
		保健所実施		委託医療機関実施分					集団健診分		その他実施分	計(B)	受診率(B/A)%	発見患者数	発病の恐れのある者
			内訳		内訳					内訳					
			IGRA		ツ反	直接撮影	喀痰	IGRA		直接撮影					
合　計	251	168	168	43	2	35	1	5	38	38		249	99.2%	2	12
患者家族	66	51	51	15	2	9	0	4	0	0		66	100.0%	0	1
その他	185	117	117	28	0	26	1	1	38	38		183	98.9%	2	11

(3)　結核対策特別促進事業　　平成 30 年度

事業者研修会	対　象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日：平成 31 年　3 月 14 日（木） 内　容：労働者（外国人含む）の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発生予防のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講　師　保健所職員 参加者：34 名
結核対策研修会	対　象：医療機関等における医師及び医療関係者 実施日：平成 30 年 11 月 1 日（木）19：00～21：00 内　容：結核対策研修会 1)講話：「皆さんへお願いしたいこと（届出等について）」 担当：南加賀保健所職員 2)講演「結核の院内感染対策～早期診断と対策のピットフォール～」 講師：公益財団法人結核予防会結核研究所　企画主幹 吉山　崇 先生 参加者：55 名
治療成功のための支援事業	コホート検討会（年 3 回）：診査会終了後に開催 実施日：平成 30 年 10 月 24 日(水) 10 件 平成 31 年　1 月 9 日(水) 12 件 平成 31 年　2 月 27 日(水) 13 件 内　容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：新登録の肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者 35 名 参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者
	ＤＯＴＳカンファレンス（7 件開催） 実施日：南加賀保健所 4/12、4/26、8/3、10/3、10/18、12/7、1/25 会　場：小松市民病院、加賀市医療センター 対　象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者（退院時に病棟から連絡、転院時に保健所から連絡） 参加者：病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師、服薬支援者（ケアマネージャー等）

２　感染症予防

（１）感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ 3,834 件の相談に対応しており、感染症分類別では、結核が最も多く、ついで、感染性胃腸炎（ノロウイルス含む）、インフルエンザ（H1N1 含む）の順となっている。

特に、インフルエンザやノロウイルスについては、保育園や高齢者施設などの社会福祉施設からの集団発生に対する相談が多く寄せられた。施設への早期訪問により、施設調査や消毒指導を行うことで、施設職員への二次感染防止のための指導を行った。

表 11-1　感染症発生状況（全数把握）

		H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年
一類（全７疾患）		0	0	0	0	0
二類（全７疾患）	結核（潜在性結核感染症含む）	３４	４３	４２	５１	２８
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
三類（全５疾患）	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	2	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	１０	１０	8
四類（全４４疾患）	Ａ型肝炎	0	0	0	1	0
	重症熱血小板減少性症候群（SFTS）	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	1	0	2	0
	デング熱	0	0	1	0	0
	日本紅斑熱	0	0	1	0	0
	レジオネラ症	5	3	5	8	3
五類（全２４疾患）	アメーバ赤痢	1	1	1	0	1
	ウイルス性肝炎	1	0	0	0	1
	ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌科細菌感染症	0	4	2	2	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	3	1	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	3	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2	1	5	0
	水痘（入院例）	0	1	2	1	1
	梅　毒	1	2	2	2	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	0
	破傷風	0	0	1	0	0
	百日咳	0	0	0	0	６９
	風しん	1	0	0	0	5
	麻しん	0	0	0	1	0

（感染症発生動向調査より）

表 11-2　感染症予防相談状況（延件数）　　平成 30 年度

			訪問相談		来所相談		電話相談	
			実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
感　染　症　総　数			８４	１８３	３３５	３６９	１１７	２８４８
（内訳）	一類感染症		０	０	０	０	０	０
	二類感染症（結核）		３９	１１０	２７	５８		１２３３
	三類感染症		７	２３	２	５	８	１２６
	（内訳）	腸管出血性大腸菌感染症	７	２３	２	５	８	１２６
	四類感染症		５	５	１	１	１０	４８
	五類感染症		１８	３０	２	２	９９	３６７
	その他		１５	１５	３０３	３０３		１０７４
	（内訳）	感染性胃腸炎（ﾉﾛｳｨﾙｽ含む）		１２		０		１９４
		インフルエンザ		１		２		４４６
		予防接種		０		０		１７
		上記以外		２		３０１		４１７

表12 感染症発生動向調査月別患者報告数　　平成30年　（単位：人）

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	1,995	829	205	172	50	5	3	0	1	1	12	166	3,439
		県内	7,798	5,451	1,301	667	208	36	4	1	11	62	86	1,084	16,709
小児科	RSウイルス感染症	管内	4	12	11	4	6	3	2	11	86	91	34	4	268
		県内	46	58	80	41	13	29	82	169	458	205	80	58	1,319
	咽頭結膜熱	管内	16	15	5	15	22	22	2	2	5	4	16	19	143
		県内	82	91	111	61	101	138	45	32	30	46	86	146	969
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	105	111	66	54	44	93	47	27	41	49	92	82	811
		県内	571	695	619	399	386	536	278	220	268	287	375	513	5,147
	感染性胃腸炎	管内	238	155	116	163	232	318	179	136	118	97	196	300	2,248
		県内	715	581	764	598	795	936	522	547	572	592	932	1,408	8,962
	水痘	管内	5	4	5	14	8	10	6	8	4	7	15	12	98
		県内	26	22	36	36	39	59	22	44	38	21	65	78	486
	手足口病	管内	1	0	0	3	3	26	4	11	6	5	0	23	82
		県内	21	8	2	5	9	55	70	73	100	55	28	57	483
	伝染性紅斑	管内	7	3	1	1	0	1	31	2	1	0	0	1	48
		県内	135	168	220	25	15	15	29	34	12	29	48	78	808
	突発性発疹	管内	5	11	8	14	16	14	2	2	7	9	8	4	100
		県内	31	42	48	57	66	83	59	39	70	43	64	25	627
	百日咳	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	0	1	14	27	19	4	0	0	65
		県内	0	0	0	3	2	10	150	370	181	47	19	2	784
	流行性耳下腺炎	管内	2	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	9
		県内	3	4	4	7	13	14	12	11	7	8	5	3	91
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	12	11	6	13	9	6	2	2	18	18	12	22	131
基幹	細菌性髄膜炎（真菌性を含む）	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
		県内	0	1	0	0	0	4	0	2	2	3	0	1	13
	マイコプラズマ肺炎	管内	7	6	5	7	5	12	4	11	19	21	20	11	128
		県内	10	8	11	10	9	18	4	11	20	30	35	14	180
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	管内	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		県内	1	0	2	3	3	1	0	0	0	0	0	0	10

表13 感染症発生動向調査月別患者報告数　　平成30年　（単位：人）

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	2	2	2	2	1	3	1	1	0	2	1	0	17
		県内	44	36	39	17	19	42	22	24	28	30	31	34	366
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	1	2	0	0	0	0	2	2	3	1	2	2	15
		県内	5	7	7	1	4	5	8	8	7	7	9	8	76
	尖形コンジローム	管内	1	1	2	2	1	2	0	2	2	3	0	0	16
		県内	3	1	4	2	2	3	4	4	5	5	2	3	38
	淋菌感染症	管内	1	0	0	0	2	1	1	0	1	2	0	0	8
		県内	11	13	6	2	9	11	9	8	11	14	7	15	116
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	8	6	0	8	4	0	6	13	11	12	11	17	96
		県内	17	11	11	21	23	14	23	28	19	25	26	28	246
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	1	4	4	2	0	1	0	0	1	1	0	0	14
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3

（２）インフルエンザ様集団かぜ発生状況（表 14-1、14-2）

平成３０年度冬期の発生状況として、県内初発が１０月１５日羽咋工業高。年末まで白山市以南の学校に発生はないが、能美市の保育所で集団発生。管内初発は、年明け後の１月１１日能美市福岡小学校で集団発生。１月２１日初発７校　トータルで１１３件。２月８日（金）から２１日まで報告なし。２２日から２７日は、小松市能美市で各１校の報告がある。

ウィルスサーベイランスの結果は、４９週目からインフルエンザが流行シーズンに入ったとの報告、４６～５０週は、AH1ｐｄｍ０９、AH３亜型、B 型の順。年明け後は AH３亜型、AH1ｐｄｍ０９、Ｂ型の順であった。

表14-1　市町別インフルエンザ様集団かぜ　初発発生状況(平成30年度)

区　　分		石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数			94	47	31	12	4
発生施設数		148	35	23	4	7	1
在籍数（人）		2,917	1,728	1,039	94	573	22
患者数（人）		7,339	581	355	53	162	11
措置状況	休校	1	0	0	0	0	0
	学年閉鎖	67	84	40	14	30	0
	学級閉鎖	80	82	50	5	21	6

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2　感染症発生動向調査　月別患者報告数(平成30年度)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	1,995	829	205	172	50	5	3	0	1	1	12	166	3,439
		県内	7,798	5,451	1,301	667	208	36	4	1	11	62	86	1,084	16,709

（3）エイズ相談状況（表 15-1、表 15-2）

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV 迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成22年3月からは、午前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て予約制とした。平成27年度からは、夜間もIC法となった。

HIV 検査普及週間及び世界エイズデーでは、受検者の増加を図るため、公衆浴場やカラオケ店、コンビニエンスストア等に検査日時の記入されたポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1　エイズ相談状況　　平成30年度（単位：件）

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	104	32	136	21	0	115	136	120	18	138
夜間	44	15	59	1	0	58	59	57	0	57
合計	148	47	195	22	0	173	195	177	18	195

表 15-2　HIV抗体検査状況　　平成30年度（単位：件）

	受検者数			陽性者数			（再掲）迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10歳代	3	2	5				2		
20歳代	37	14	51				34	1	
30歳代	45	12	57				42		
40歳代	31	9	40				25		
50歳以上	16	4	20				12		
合　計	132	41	173	0	0	0	115	1	0
(再掲)夜間	45	14	59	0	0	0	0	0	0

（4）性感染症相談状況（表 16-1、表 16-2、表 16-3）

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返送される。

表 16-1　性感染症相談検査実施状況　　平成30年度（単位：件）

	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症尿検査			
		計	陽性	陰性	判定不能	計	陽性	陰性	判定不能
男	115	102	4	98	0	93	5	88	0
女	42	38	0	38	0	35	2	33	0
計	157	140	4	136	0	128	7	121	0

表 16-2　クラミジア検査件数（性別・年齢別）　　平成 30 年度（単位：件）

	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
男	93	2	27	31	22	8	3
女	35	2	13	9	7	4	0
計	128	4	40	40	29	12	3

表 16-3　梅毒検査件数（性別・年齢別）　　平成 30 年度（単位：件）

	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
男	102	3	29	35	25	7	3
女	38	2	14	10	7	5	0
計	140	5	43	45	32	12	3

（5）肝炎ウイルス相談状況（表 17）

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイルス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎ウイルス検査を実施している。

表 17　肝炎ウイルス相談検査状況　　平成 30 年度（単位：件）

	計	HCV 抗体の検出	HCV 抗体検査					HBs 抗原検査			相談件数
		陰性	陰性	中力価及び低力価 HCV 抗原検査 陰性 HCV-RNA 陰性	中力価及び低力価 HCV 抗原検査 陰性 HCV-RNA 陽性	中力価及び低力価 HCV 抗原検査 陽性	高力価	計	陰性	陽性	
男	100	0	100	0	0	0	0	100	100	0	161
女	41	0	41	0	0	0	0	41	40	1	
計	141	0	141	0	0	0	0	141	140	1	

（6）肝炎ウイルス検査状況（表 18）

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実施している。

表 18　肝炎ウイルス検査状況　　平成 30 年度（単位：件）

計	HCV 抗体の検出または HCV 抗体検査	HCV 抗体検査			HBs 抗原検査		
	陰性	中力価及び低力価 HCV 核酸増幅検査 陰性	中力価及び低力価 HCV 核酸増幅検査 陽性	高力価	計	陰性	陽性
582	578	1	0	3	582	581	1

（７）肝炎対策推進事業

肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

（ア） 目　的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

（イ） 開催日・会場

平成 30 年 11 月 27 日(火)14:30～16:00

石川県南加賀保健福祉センター

（ウ）参加者

平成 14 年度から 30 年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等

講演会 12 名、個別相談 5 名参加

（エ） 内　容

【講演会】

「Ｂ型肝炎・Ｃ型肝炎の最新の治療」

講師：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

（根拠法令：肝炎対策基本法 第 17 条）

（８）「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

（ア）目　的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年の性に関する正しい知識を普及するとともに、青少年の性行動の背景にある心の問題（寂しさや自己肯定感の低さ等）に、青少年に関わる関係者が適切に対処できるよう研修することにより、青少年の生きる力を育成することに寄与する。

（イ）開催日・会場

平成 30 年 11 月 8 日(木)14：00～16：30

石川県南加賀保健福祉センター

（ウ）参加者

小・中・高校の養護教諭、助産師会助産師、保健所・市町職員

13 名参加

（エ）内　容

【報告】

「南加賀管内における性感染症、若年妊娠の実態」

報告者：保健福祉センター職員

【講演】

「中学校での関わりをとおして伝えたいこと」

講師：元中学校校長　西上　純一　氏

【ディスカッション】

ファシリテーター及び助産師

元中学校校長　西上　純一　氏

南加賀保健福祉センター

所長　沼田　直子